

様式1 平成 28年度 山梨県立甲府城西高等学校学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	自己の課題に積極的に取り組み、創造する力と豊かな個性を身につけ、社会に貢献する生徒を育成する。
-----------	---

山梨県立甲府城西高等学校校長 田之口 晃士

本年度の重点目標	1 積極的に学ぶ生徒を育てる。	達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	2 規範意識の向上を図り、社会性を育む。		B 概ね達成できた。(6割以上)
	3 心身を鍛え、豊かな人間性を育む。		C 不十分である。(4割以上)
	4 社会の問題を意識し、積極的に関わる態度を育てる。		D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自己評価

番号	評価項目	本年度の重点目標	具体的方策	方策の評価指標	年度末評価(2月13日現在)		
					自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	積極的に学ぶ生徒を育成する		①自ら学び、考える力を育成するため、学習指導の工夫・改善に努める。	理解度に応じた指導の充実	・「理解度に応じた指導の充実」 →評価A41%、評価B50% ・「指導の工夫・改善」 →評価A27%、評価B56%	B	教員相互の授業観察を行い、生徒への授業アンケートを実施した。授業観察回数の増加とアンケートの工夫を図っていく。 面接や小論文指導における個別指導の充実が進路実現につながった。課外については、日程・内容を検討し、充実を図る。 各授業で4つの力の向上を目指し、取り組んだ。授業改善の具体的手がかりとして今後も取り組んでいく。 創立以来初の資格を取得した生徒も現れ、体験的学習も充実したものであった。レベルアップを目指し、内容の向上を図る。
			②基礎的・基本的な学力を身につけさせ、進路実現に結びつける。	実力診断テストの活用、課外の充実	・「課外や小論文・面接等の個別指導の充実」 →評価A45%、評価B46%		
			③授業をとおして4つの力(理解する力、収集する力、まとめる力、伝える力)を育む。	4つの力の向上	・「授業を通した4つの力の育成」 →評価A28%、評価B55%		
			④体験的な学習の重視と資格取得を奨励することで、専門的な知識・技能の修得を目指す。	産社・総学等における体験的学習の充実	・「体験的学習の充実」 →評価A37%、評価B48%		
2	規範意識の向上を図り、社会性を育む		①基本的な生活習慣を確立させる。	遅刻指導、あいさつ運動の充実	・「あいさつ習慣の確立」 →評価A57%、評価B36% ・「時間を守る指導の充実」 →評価A49%、評価B45%	A	部活動の生徒を中心に挨拶をする習慣が身についており、遅刻者も減少した。今後も継続した指導を行っていく。 頭髪服装検査で再検査となる生徒が減少している。検査方法や回数を見直し、自律的な姿勢を育てていきたい。
			②集団生活のルールやマナーを身につけさせる。	服装頭髪指導の徹底	・「集団生活のルールやマナーの指導」 →評価A46%、評価B47%		
3	心身を鍛え、豊かな人間性を育む		①自己を正しく理解し、在り方・生き方について考えさせる取り組みを実践する。	自己理解、生き方・在り方を考える機会の充実	・「産社や総学の講話による効果」 →評価A34%、評価B51%	B	昨年度とほぼ同様の成果があった。自己理解や在り方生き方より深く考えられるように内容の充実を図っていく。 特に防災安全指導の改善を図り、評価Aが増加した。さらに実際のものとするべくより工夫改善を図る。 部活動は学校の大きな柱となっており、活性化や愛校心の育成に寄与している。今後も一層の充実を図り、人間教育を行っていく。
			②健康と安全に対する意識を深める取り組みを実践する。	保健講話、生指講話、防災訓練の充実	・「健康や命を守る講話の充実」 →評価A29%、評価B50% ・「災害時の行動等の指導の充実」 →評価A36%、評価B51%		
			③部活動を活発にして、豊かな人間性を育む。	部活動における技術技能の向上、人間性の育成	・「部活動の充実」 →評価A60%、評価B34%		
4	社会の問題を意識し、積極的に関わる態度を育てる		①キャリア教育の充実を図り、個々の進路にむけての意識づけを行う。	進路意識を高める取組の充実	・「進路意識を高めるための総学やLHRの充実」 →評価A33%、評価B52%	B	系列選択や科目選択の指導を強化し、学習内容も改善した。進路実現に向けた意識の一層の向上を図るべく、内容の充実に取り組んでいく。 文学館・美術館見学や修学旅行等で実際に触れる学びをすることで、理解を深めている。発表活動等もより充実・発展させていく。 地域の雪かき・清掃活動や、他校との交流を通して、生徒は社会への貢献の大切さや自己の役割を自覚した。今後も継続して取り組んでいく。
			②我が国の文化や伝統に触れ、大切にすることを意識を向上させる機会を設定する。	産社・総学等における計画立案	・「産社・総学における日本の文化や伝統に触れる機会の設定」 →評価A31%、評価B50%		
			③地域社会及び世界の諸問題に目を向けさせる取り組みを実践する。	地域の諸行事への参加	・「地域交流への取組」 →評価A33%、評価B50%		

学校関係者評価

学校関係者評価	
実施日(平成29年3月10日)	
評価	意見・要望等
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての項目について、①「達成できた」の数値が上がっており(これに比して、②「ほぼ達成できた」の数値は減少しており、先生方の授業改善の取組がさらに進展していることが見える。特に生徒の回答を見ると、①「達成できた」との回答が多く、授業を受ける側である生徒が教員の学習指導や生徒・進路指導を高く評価していることが見て取れる。 ○ 各項目の中でも、「小論文・面接の個別指導等が適切に行われている」の評価が特に高く、日頃から先生方が一人ひとりの生徒に對し、真摯に粘り強く指導を行ってきた成果の表れであると考えられる。小論文の添削や個々の生徒の性格やニーズに応じた生徒・進路指導は、通常の授業とも異なって、特にエネルギーを必要とする職務領域でもあり、先生方一人ひとりの生徒に對する愛情や教員としての使命感の強さが積み重なって、このような評価につながったものとして敬意を表したい。 ○ 学力については当然ですが、総合学科の高校とすれば、④の充実が必要不可欠かと思えますので、次年度以降も重点的に取り組んでほしいです。 ○ 学校目標・経営方針にあるとおり、多くの生徒が積極的に学習に取り組むことができていたと思えます。高度な資格取得が達成できた生徒もいて、基本的な学力が身に付き、発展的な学習に取り組まれたと感じました。③にあるように、今後も近年の子供たちに不足しているまともな力と伝える力の向上に力を入れていってほしいと思います。
4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者にも見えやすい目標ということで、生徒はもとより、保護者からの回答も多くなっており、その評価結果も非常に高い。生徒の生活に最も身近な保護者からの評価は、生徒の生活習慣が非常に高いレベルで確立していることを表しているものと思えます。 ○ 生徒や保護者からも高い評価を得られていたが、今年度の体罰の問題は非常に悔やまれるところである。一人の教員によって生じたこととなく、複数の教員によるものであっただけに、組織的な対応が望まれる。 ○ 挨拶に関しては、体育部の生徒さんを中心に他校に比べても良くできていると思います。 ○ 服装頭髪指導の徹底につきまして、色々な意見があると思いますが、個人的には、服装頭髪が学校生活の乱れにつながると考えていますので、引き続き、指導の徹底に向けて取り組んでほしいと思います。 ○ 挨拶運動の取組は効果を感じられます。折に触れての学校訪問に感謝します。笑顔とたずまいの力をいれてほしいと思います。 ○ 挨拶活動や登下校時のマナーの向上ができていたと思えます。地域社会とのより良い関係が築けたと感じました。
4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特に「健康と安全に対する意識を深める取組」に関連した「学校で地震や火災などの災害が起こった場合の行動」の項目で、生徒や保護者の①「達成できた」の数値が伸びている。今後の学校生活はもとより、卒業後も社会人として一生にわたって心がけなければならない事項であるだけに、最後の学校生活となるかもしれない生徒に對して、より一層の指導を行っていただきたい。 ○ 評議会の場でも述べさせていただいたが、自転車保険について保護者だけでなく、生徒に對してもその必要性を指導していただきたいとも考える。卒業後生徒は社会人として、様々な生活上のリスクを昇越して自身の生活を守っていかなければならない。これから生命保険や自動車保険、労災保険などの様々な保険に加入していくことになるわけであるから、そのための入門知識としても、自転車保険について学び、意思決定することは意義ある学習だと考える。 ○ 机上の提案だけでなく、体験的な学習は社会人になったから大変役立つと思えます。 ○ 近隣住民としても、交通事故ゼロを目指してほしいと思えます。また、活発な部活動が学校の評価向上にもつながりますので、引き続き頑張ってください。 ○ 近年の部活動の所属生徒の増加や、3年次生の多数の3年生部活動など、身体的な管理だけでなく、精神的に自己管理できる人間への育成がなされていたと実感できました。
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体験学習についても、非常に充実した取組が行われていることが、評価結果からも窺える。個人的な話で恐縮だが、甲府幼稚園に在籍する息にも、毎年冬プログラムや記念品を提供していただき、年と共にそのレベルも上がっているように感じられる。先生方の生徒への動機付けや細やかな配慮がとても良く行き渡っていると思う。 ○ 貴校は卒業後の県内就職者も多いことから、愛郷心や地域への貢献心に富む生徒を今後も育てていただくと期待しています。 ○ 地域でのゴミ拾い、高齢者宅の雪かき等田地区はとても動かっています。これからも宜しくお願いします。 ○ 生徒自身の進路を決めるには、きめ細やかな指導が必要かと思えますので、進路が決まらない生徒がゼロになるよう目指してほしいです。また、生徒が地域に貢献する姿が新聞等で取り上げられると評価も高くなると思います。 ○ 学校内の授業だけでは難しい項目ではあると思いますが、積極的に学ぶことと連動して、自ら進んで取り組む生徒が多くなるのではないのでしょうか。進路設計においては、決して高望みではなく、レベルの高い進路を選択できるような生徒の育成ができていたと思います。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
 (2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。